

株式会社エンドレスプロジェクト

平成25年度

■事業計画名

すり合わせ装置導入によるレース用高付加価値ブレーキパッドの商品化

■概要

高速走行自動車用ブレーキに欠かせないベディング（ブレーキパッドの高速すり合わせ）処理をブレーキパッド製造と一体化工程とすることで、高い信頼性とブレーキ性能を確保し、自動車メーカーにハイエンドブレーキパッドを提供する。

■分類

- ＜対象類型＞ ものづくり技術
複合・新機能材料
- ＜事業類型＞ 一般型
設備投資のみ

■成果

競技用ブレーキパッドでは使用前にすり合わせ工程（以下ベディング）が必要である。殆どの自動車競技では走行時間は限られており、従来は参戦車両を用いて、その走行時間内に実走行でベディングを行っていた。

この度の専用設備（すり合わせ装置）導入により事前にブレーキパッドメーカーとして最良の条件で安定的にベディングを行うことが可能になった。

その結果、お客様は貴重な走行時間を車両調整などの時間として有効利用することが可能になるとともに、高品質で安定したブレーキパッドを使用することができるようになった。



徹底したこだわりのものづくりから生まれる 世界が信頼するブランド「ENDLESS」

徹底したこだわりとユーザー目線



商品、レースカー、レストアカーが展示される本社ショールーム

「我々は本当に好きでやっているから、しつこく、成功するまでやる。こだわりのものづくりでは、どこにも負けませんよ」。

そう言い切るのは、エンドレスプロジェクトの花里功社長。同社はブレーキパッド、ブレーキローター、ブレーキキャリパー、サスペンションなど、「ENDLESS」ブランド自動車部品の開発・製造メーカーです。製品は世界39カ国で活躍し、モータースポーツから一般ユーザーまで、信頼のブランドとして高い評価を獲得。自社でも数々のレースに参戦し華々しい戦績を上げています。

花里社長は元レーサー。一瞬の判断が生死を分けるサーキットの世界で、車とメカニックには極限までこだわってきました。その経験を生かして1986（昭和61）年、まず品質と性能ありきという徹底したこだわりと“ユーザー目線”のものづくりの志を同じくするメンバー5人で同社を創業し、ブレーキパッドの開発をスタート。翌年にはレーシングカー用ブレーキパッドで70%のシェアを獲得しました。

「佐久平から世界一を目指そうとスタートした。ただの夢物語と言われましたが、志はそこにあった。魂を込めたものづくりで自分たちのこだわりをカタチにし続けよう。それがエンドレスという社名の由来です」。

製品開発は、ブレーキパッドに使う摩擦材の配合など素材研究からもアプローチ。“勝つ”ための品質を目指すとともに、アスベスト全廃など環境面からの取り組みも積極的に行っています。

商売の成功はインスピレーションに

同社がものづくり補助金を活用して取り組んだ

のが、「すり合わせ装置導入によるレース用高付加価値ブレーキパッドの商品化」。



ベディング装置

レースやラリーでは、ブレーキパッドとブレーキローターは600度を超える高温となり、新品のブレーキパッドではブレーキ動作が不安定になります。性能を100%引き出すためには使用前にすり合わせ（ベディング）をする必要があります。従来はレース前に実車で行っていましたが、しかし費用面から十分なベディングが困難な状況が生まれています。

この問題を解決するため、適切なベディングを内製できるベディング設備を開発。ブレーキパッド製造工程に導入し、事前に最良の条件下で安定的にベディングすることを可能にしました。

限られたハイエンド・マーケットをターゲットにした「セラミックスカーボン・ローター」の開発など、こだわりのものづくりは自然に世界の頂点に向かいます。その一方で、「塩熟野菜」の販売を手がける発想の面白さ。花里社長はこう言います。



レーシングガレージで整備中のレースカー

「開発は五感を使い、感性を磨いている人間にしかできない。商売が成功するかどうかはインスピレーションにかかっています」。



株式会社エンドレスプロジェクト

代表 代表取締役 花里 功
創業 1987（昭和62）年8月
資本金 2,600万円 従業員数 32名
本社 佐久市横和1012-1
TEL.0267-67-0535 FAX.0267-67-0697
事業内容 自動車部品の製造・販売

